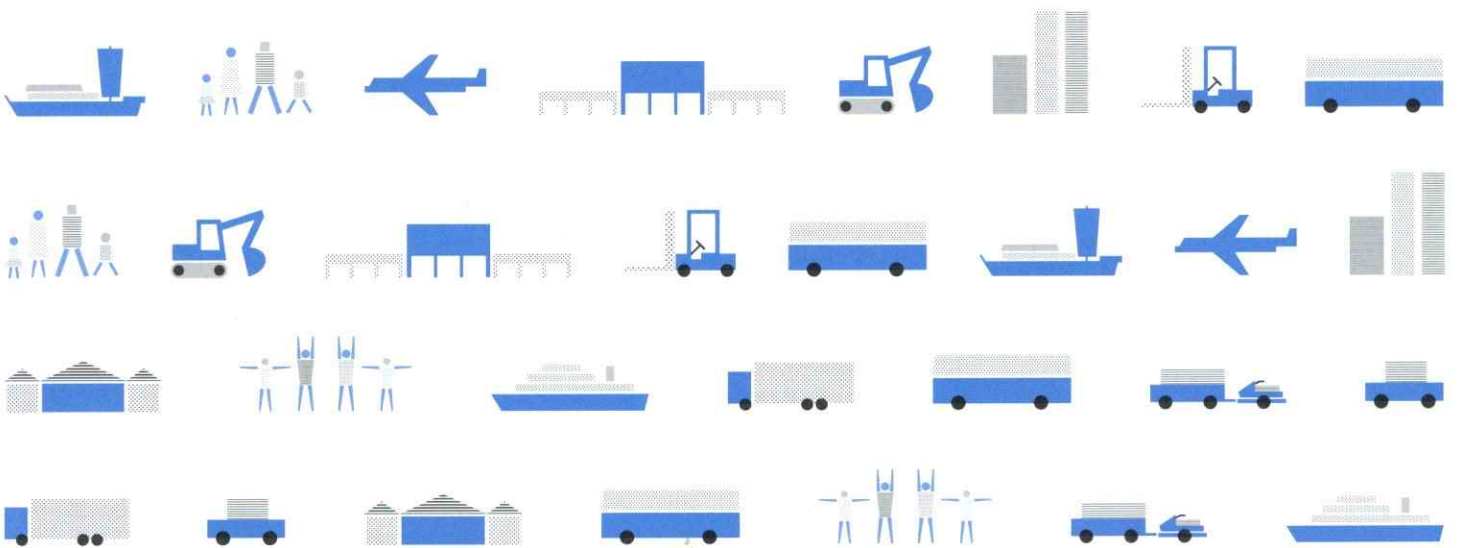


RYOBI

Corporate Profile

会社案内

HOLDINGS



RYOBI HOLDINGS



両備グループの礎は1910(明治43)年創立の西大寺鐵道。全長わずか11.5キロの軽便鐵道の会社でした。以来100年以上にわたり、時代とともに進化し続け、今では約10,000人の社員を擁する企業グループへと発展しました。トランスポーテーション&トラベル部門、ICT部門、くらしづくり部門、まちづくり部門の4つの事業セグメントからなる両備グループは、そのシナジーを高めながら、両備が生まれ育った岡山県を中心に、国内は東北地方から九州地方まで、海外は東南アジアへと夢を拡げてきました。

この母なる西大寺鐵道の流れを汲み、両備グループの歴史とともに存在するのが両備ホールディングス株式会社。両備グループの中核企業として事業を通じて地域と触れ合いながらまちづくりに挑んでいます。

原動力は、社員の夢。夢が企業を創り、企業が夢を育てます。両備ホールディングスは、社員はもとより、社会や地域の夢の実現のために存在する会社でありたいと願っています。

代表取締役会長兼 CEO
小嶋 光信



取締役副会長
松田 久



代表取締役社長
松田 敏之



経営理念

ちゅうじょ

忠恕

真心からの思いやり

経営方針

- 一、社会正義
- 一、お客様第一
- 一、社員の幸せ

忠恕（ちゅうじょ）は、100有余年の両備グループの歴史の中で脈々と受け継がれてきた創業者の思いです。

真心からの思いやりを意味し、全ての社員が仕事をする上での指針としています。

そしてその忠恕を、社会、お客様、社員への3方向に展開したもの、つまり、社会への思いやりとして「社会正義」、お客様への思いやりとして「お客様第一」、社員への思いやりとして「社員の幸せ」、を経営方針としています。

社会正義

コンプライアンス以上の正義。両備グループでは法制化されていないことも社会正義として貫くことを表します。

お客様第一

「儲け」は「信じる者」と書きます。お客様から信用されて利益が上がるのが、儲けることを示します。偏りの顧客主義では意味がなく、企業には、常に最善の商品やサービスを提供する姿勢が必要です。

社員の幸せ

幸せの方程式：社員の幸せ = 健康 × 能力 × やる気 + 夢 = 個人の業績

健康、能力、やる気のどれかがゼロになれば、個人業績はゼロです。この方程式は、幸せは誰かがくれるものではなく自らの努力でつかむもので、夢をもって取り組み、さらに幸せ度が上がる、ということを表しています。

沿革

1910(明治43)年7月	西大寺観音院(岡山市東区)で西大寺軌道株式会社創立総会を開催
1911(明治44)年12月	軽便鉄道事業を西大寺-長岡間(現在の岡山市東区)で開始
1914(大正3)年11月	商号を西大寺鐵道株式会社に変更
1936(昭和11)年5月	西大寺鐵道が共同出資で子会社として両備バス株式会社設立
1955(昭和30)年10月	西大寺鐵道と両備バスが合併し、商号を両備バス株式会社に変更
1961(昭和36)年1月	両備観光株式会社設立
1962(昭和37)年9月	西大寺鐵道を閉業。52年の歴史に幕
1962(昭和37)年10月	航空部を創設し両備航空センター開設。全日空・東亜国内航空総代理店として営業開始
1963(昭和38)年10月	南備海運株式会社が両備グループ入り
1964(昭和39)年10月	大阪両備バス株式会社設立、大阪市阿倍野区で業務開始
1964(昭和39)年11月	岡山県岡山市に西日本最大の整備工場が完成し、倉敷工場を移転
1967(昭和42)年9月	両備観光株式会社を合併し、商事部とする
1967(昭和42)年11月	大阪両備バス株式会社を合併し、大阪支社とする
1968(昭和43)年6月	不動産課を不動産部に昇格させ本格的に不動産事業開始
1969(昭和44)年11月	南備海運株式会社と日の丸タクシー株式会社が合併し、両備運輸株式会社設立
1972(昭和47)年4月	商事部をストア部に改称
1972(昭和47)年7月	両備ボウルが岡山市内にオープン(2018(平成30)年10月に閉場。46年の歴史に幕)
1983(昭和58)年6月	ボウル部をスポーツ事業部に改称
1998(平成10)年9月	ソレックス株式会社と両備電子部品株式会社を合併し、商号をソレックス株式会社とする
2000(平成12)年4月	社内カンパニー制導入で8事業部を社内分社。シビルバス、両備観光、スカイサービスサプライズ、両備整備、両備不動産、両備ストア、両備スポーツセンター、両備保険の各カンパニーを設置
2003(平成15)年6月	両備保険カンパニーの事業を株式会社トーキョー・リョービへ移管
2007(平成19)年4月	両備バスと両備運輸が合併し、新商号を両備ホールディングス株式会社とする
	両社の事業をそのまま社内カンパニーとして引き継ぎ、両備シビルバス(現両備バス)、両備観光(現両備バス)、両備観光大阪(現両備バス)、両備トランスポート、両備タクシー、両備フェリー、両備スカイサービス、両備ストア、両備不動産(現まちづくり)、両備テクノ(現両備テクノモビリティ)、両備スポーツセンター、両備経営サポートの12カンパニーでスタート
2010(平成22)年7月	創立100周年を迎える
2012(平成24)年4月	津山タクシー株式会社を合併。両備バス津山支店と津山タクシーで両備津山カンパニーを新設
2013(平成25)年2月	社内カンパニー両備インベストメントカンパニー 新設(2014(平成26)年に両備不動産東京カンパニーに改称)
2015(平成27)年6月	両備不動産カンパニーを岡山まちづくりカンパニーに改称し、両備不動産カンパニー広島支店開設準備室が両備不動産広島カンパニーへ昇格
2015(平成27)年10月	ソレックス株式会社を合併し、ソレックスカンパニーとする
2019(令和1)年6月	岡山まちづくりカンパニーをまちづくりカンパニーに改称
2020(令和2)年3月	タクシー事業を岡山両備タクシー株式会社と岡山交通株式会社へ移管
2020(令和2)年4月	両備テクノカンパニーとソレックスカンパニーを統合し、両備テクノモビリティカンパニーとする
	両備モーターズ株式会社を合併し、両備テクノモビリティカンパニーへ統合
2020(令和2)年10月	両備バスカンパニーに両備津山カンパニーおよび両備バス関西カンパニーを統合
2020(令和2)年12月	両備スポーツセンターカンパニーをまちづくりカンパニーへ統合

人を大切にする経営で、地域の活力を高め、まちづくりに挑む

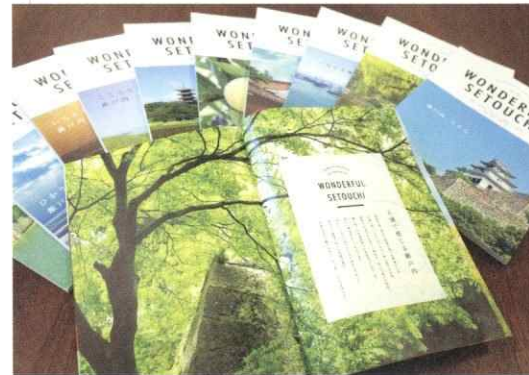
1910(明治43)年の西大寺鐵道創立に始まった両備グループは、時代の変革期に大きく飛躍します。1962(昭和37)年、グループの礎であった西大寺鐵道閉業を発展の起爆剤にしてバス事業への転換を図りました。1970年代にはマイカー時代の到来を予期し、バス事業が大きく変化します。事業の多角化を実現し、現在の企業運営にも通じる多業種体の足掛かりを築きました。両備グループは、人材が余っている不況時および構造改革の時に、人材を活用し事業の拡大へと舵を取ってきたのです。根底にあるのは人を大切にする経営。それが今の両備グループを創りあげました。

両備グループが掲げるテーマは「まちづくり」。歩いて楽しく、そして子どももワクワクするような、そんなまちづくりを進めたいとグループシナジーを高め取り組んでいるところです。まちづくりに必要なもの、それは地域の活力です。地域の活性化は公共交通の維持・発展につながるもので、両備グループにとって事業発展の大きなファクターとなります。

両備グループが特に心を寄せている地域は「瀬戸内」。両備グループを育ててくれた瀬戸内地域を世界的な観光地にし、海外からのお客様の誘致を進めていきたいと願い、さまざまな取り組みを進めています。

瀬戸内の魅力発信のために行政や地域の方々に協力を仰ぎ年2回発行している観光フリーマガジン『WONDERFUL SETOUCHI (ワンダフル瀬戸内)』。五感で感じる瀬戸内をテーマとしてさまざまな角度で魅力を伝えます。また同誌と連動して世界最大級の総合観光イベント「ツーリズム EXPO ジャパン」へも地域の自治体とともに毎年出展。両備グループが裏方となり企画運営するブースは高い注目度を誇り、瀬戸内のPRに一役買っています。関連プロジェクトも走り始めており、香川県小豆島を世界の観光地にするためのサイクルアイランド構想やスピリチュアル構想に基づく取り組み、日本遺産で日本六古窯のひとつである備前焼に着目した備前焼応援プロジェクトなど、いずれも地域とのつながりの中で生まれた動きです。そしてこれらの取り組みは年々着実に実績を重ね、今、瀬戸内地方に世界から注目が集まっています。

観光フリーマガジン『WONDERFUL SETOUCHI』



ツーリズム EXPO ジャパン



小豆島サイクルステーション



小豆島お遍路八十八ヶ所めぐり



ひがしやま備前焼市



岡山に新しいまちを創る 岡山発未来へ「杜の街づくりプロジェクト」

現在、岡山市内中心部で、約16,000㎡の大規模開発を進めています。岡山県内最高層となる地上37階建てのマンション棟のほか、オフィス、商業施設、ヘルスケア施設などを擁する複合施設です。

「杜と出逢い、杜と交わり、杜に暮らす」をテーマに、人が集う空間を創り、新しい豊かさをこのまちから提案します。これは、両備グループの経営テーマ「歩いて楽しいまちづくり」「安全・安心・エコで健康」を具現化した未来のまちづくりです。岡山を知り尽くした地元企業として、岡山市内中心部の新たな魅力を引き出し、大人も子どもも楽しめて、地域の人々の夢を創るスマートシティの実現を目指します。

そしてそれは、持続可能な社会の提案でもあり、次代を見据えた両備グループが示す新しいまちのカタチです。

両備ホールディングスを育ててくれた、地域への恩返し。

世界に誇れる未来の岡山を創るのは、私たち、両備ホールディングスです。



杜の街商業等 (完成予想図)



杜の街グレース オフィス棟・商業棟 (完成予想図)

社員の夢が事業を創造する

両備グループの中期経営計画は、トップダウンではなく、ボトムアップ方式で作成されたものです。まさに一人ひとりの夢が積み重なった結果です。個人の夢がチームの夢になり、チームの夢は部署の夢になる。部署の夢は会社の夢となり、さらには両備グループの夢となる。夢は目標であり、方向性であり、意識です。

夢は一つひとつ実現しています。都市間高速バスの常識を覆した完全個室の夜行バス「ドリームスリーパーⅡ」は、その新しい発想で全国的にも話題となりました。アジアの食文化を変えるという大きな夢に向けコールドチェーン網の確立に向けた展開が進んでおり、ベトナム、ミャンマーに物流部門が進出しています。世界でトップクラスのクルーズ客船をつくる「海の七つ星プロジェクト」も進行中。デザイナーの水戸岡鋭治さんとともに夢の実現に向けて大きく動いています。

個人では諦めかけていた夢でも、約 10,000 人の両備グループの仲間の知恵と幅広い業種があれば、実現に向けてチャレンジできるのです。夢は事業の原動力です。この先、ロボットや AI や IoT による新しい時代になっても、夢を持つのは人だけです。夢を持った両備グループ社員が、人にしか持てない心を使った仕事で、各自が描く夢の実現へ向けて取り組み、事業を創ります。

新規プロジェクト

新規事業

新規プロジェクト

新規事業

新規プロジェクト

事業を創造

両備グループの夢

会社の夢

部署の夢

チームの夢

個人の夢

夢

両備ホールディングスのミッション

両備ホールディングスは、10のカンパニーを有し、それらはトランスポーターション&トラベル部門、くらしづくり部門、まちづくり部門に大別されます。各カンパニーの執行は CEO から信託されたカンパニー長があたり、スピーディな経営判断で企業運営を進めています。

両備グループの中核と位置づけられ、グループが目指す 21 世紀型の強い企業体質づくりの中心的な役割を担う両備ホールディングス。企業の枠を超えたグループシナジーを常に意識して、ヒト・モノ・カネという経営資源を一元管理する独特な経営形態で、次なる 100 年に挑みます。



都市間高速バス「ドリームスリーパーⅡ」

両備バスカンパニー

100 年企業「両備バス」が目指す、新たなモビリティサービスのかたち。

西日本で絶対的な信頼を誇るバスブランド「両備バス」。運輸・観光のリーディングカンパニーとして長きにわたり培ってきた期待と信頼に応えて、日本一安全で安心できるバス会社であり続けることがミッションです。絶対的な安全・安心というサービスに、高い付加価値を提供してこそ、次代を担えると考えます。

岡山県南部をエリアとする路線バスは、両備グループ ICT 部門の情報技術をバックボーンとした利用者に寄り添うサービスを提供し、地域公共交通を守ります。

岡山・大阪と主要都市を結ぶ都市間高速バスは、路線、利用者数ともに順調に伸び、カンパニーの大きな柱としてのさらなる成長が期待されています。多彩な車両ラインナップを強みとする観光バスは、十分な安全性を確保していると評価された安全性認定制度の三ツ星認定事業者です。

お客様の安全を担うのは、高い技術力と知識を持った乗務担当社員と整備担当社員。この安全性とブランド力がお客様に提供する安心感をベースに、次代のバス事業を創出します。

100 有余年の歴史を有する両備バスの次なる夢は、さまざまな社会問題を解決するとして期待が高まる MaaS の実現。両備グループのシナジーを活かし、新たなモビリティサービスのあり方を提供することで、地域貢献を目指します。



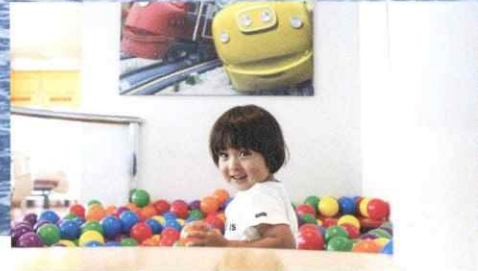
観光バス「Ampezza」



路線バス西大寺・益野西線の停留所「駅」



路線バス



おりんぴあどりーむせと(小豆島航路)

両備フェリーカンパニー

旅客船事業を通じて、世界の観光地を創る。

両備フェリーカンパニーグループは、岡山県・香川県と瀬戸内海の小豆島を結ぶフェリー、三重県津市・松阪市と中部国際空港を結ぶ高速艇、神戸港と東京湾で遊覧する観光船を運航し、小豆島でホテル事業を展開する企業グループです。安全・安心で快適な船旅の提供に加え、多くの航路を持つ瀬戸内海が世界の観光地になることを目指し、航路を活かしたさまざまな企画で地域を盛り上げています。

定期航路では、生活航路としての利便性を高めることはもちろん、乗って楽しいクルーズ提案も進めています。岡山-小豆島航路の新造船「おりんぴあどりーむせと」には、デッキでミニトレインを走らせたり、キッズルームを設けるなど、楽しい仕掛けを施しました。移動中も心がおどる“子どもも楽しいクルーズフェリー”です。東京湾を遊覧する御座船「安宅丸」は、船そのものを観光名所にするべく、さまざまな催しで新たな日本のエンターテインメントを創出します。



御座船安宅丸(東京湾)



オーキドホテル(香川県小豆島)

両備フェリーカンパニーグループ

- 国際両備フェリー株式会社
- 津エアポートライン株式会社
- 瀬戸内観光汽船株式会社
- 神戸ベイクルーズ株式会社
- 内海フェリー株式会社



両備トランスポートカンパニー

アジアのサプライチェーンを支える、高品質の物流ネットワーク。

両備トランスポートカンパニーは、トラック輸送と倉庫保管を中心に国内外の物流ネットワークを構築し、そこから派生するさまざまなニーズに対応できる物流のエキスパートカンパニーとして、企業のサプライチェーンマネジメントに応えます。掲げる夢は、アジアにおける最新鋭で最先端のコールドチェーン確立。ベトナム、ミャンマーとその拠点を広げ、夢の実現へ向かっています。国内事業で培った両備品質のサービスは、グローバル時代に必要不可欠な国際物流サービスを支えます。

両備トランスポートカンパニーグループ

- 両備トランスポート株式会社
- Ryobi International Logistics Vietnam JSC
- Ryobi (Vietnam) Distribution Service Company Limited
- Ryobi Myanmar Distribution Service Company Limited
- 共備運輸興業株式会社

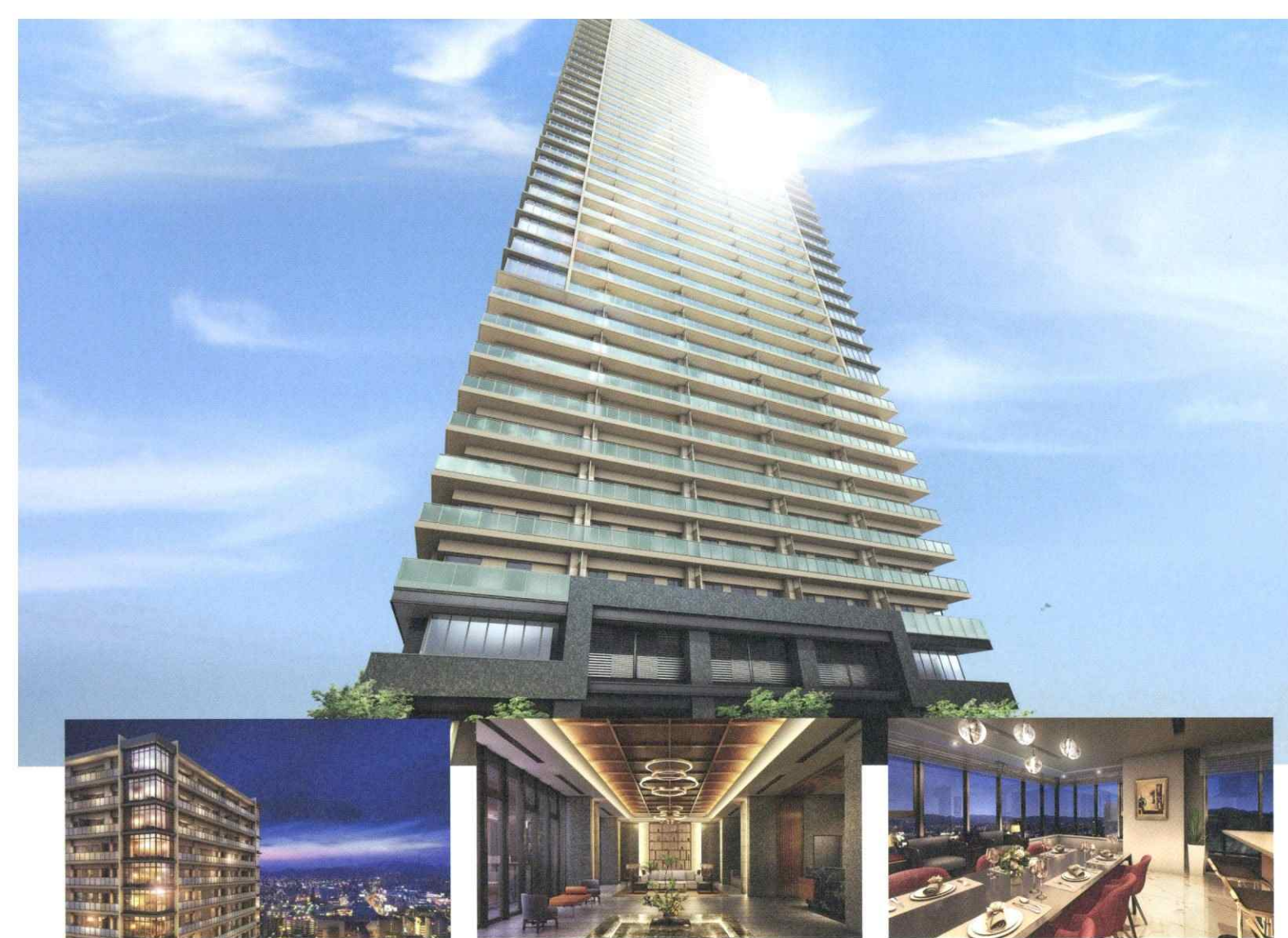


両備スカイサービスカンパニー

岡山のエア・アクセスを、地上業務で全面サポート。

岡山桃太郎空港の地上ハンドリング事業の一切の業務(航空機整備と燃料給油を除く)を担い、旅客、貨物、運航、地上作業の各セクションで国内外の航空会社をサポートしているのが両備スカイサービスカンパニーです。定時性と高品質なサービスは高い評価を得ており、特に地上作業の安全は全国屈指のハイレベルを維持しています。

近年岡山は、県をあげての誘致活動が功を奏しインバウンドの伸びが顕著です。西日本の拠点空港としての役割はもちろん、日本の玄関口としても重要な役割を持つ岡山桃太郎空港。専門的な知識と技術を備えた両備のスタッフが、岡山県のさらなる空路発展と観光振興を支えています。

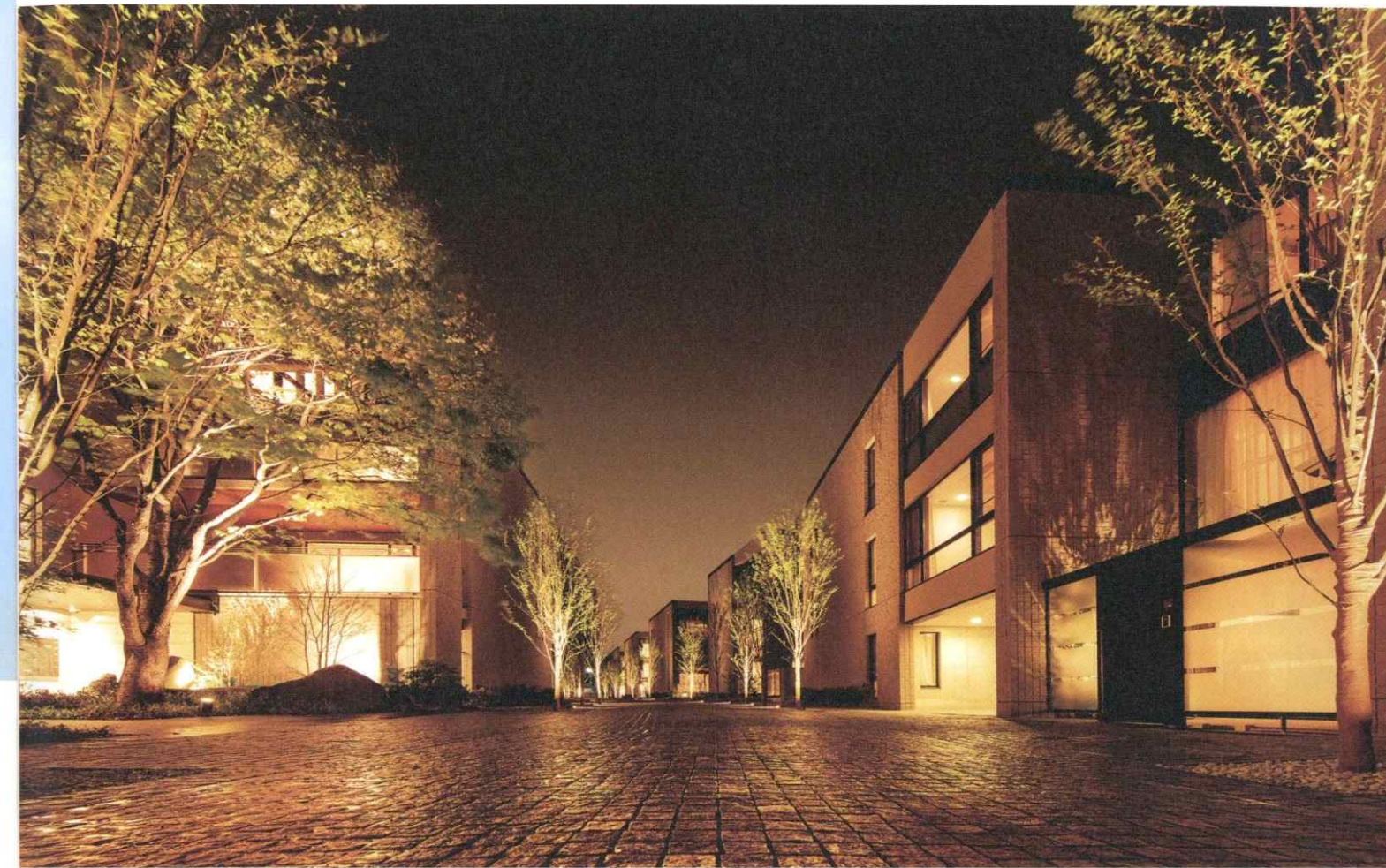


杜の街グレース岡山ザ・タワー (完成予想図)

まちづくりカンパニー

デベロッパーとして地域づくりに挑む。

国土交通省は「国土のグランドデザイン 2050」として、コンパクトとネットワークというキーワードで新たな国土づくりの理念を示しました。これから更なる地域の変貌が予想される中で、地域のニーズをしっかりと汲み取り、「誇りあるわがまち」を創るために、デベロッパーとして地域と一体となって地域づくり、まちづくりに貢献することがまちづくりカンパニーのミッションです。2020年12月より、両備スポーツセンターカンパニーが、スポーツ事業部としてまちづくりカンパニーに加わりました。新たなまちづくりに挑むとき、そこに住む人たちがいきいきとした日常を送れるよう、地域創生のひとつの手段として健康支援に着眼します。まちづくりカンパニーの地域づくりの視点がアップデートされました。現在も岡山市内でいくつかのビッグプロジェクトが動いています。地元のデベロッパーとして、地域の活力と新たな魅力を引き出すという大きな使命感を持った開発です。両備グループの事業テーマである「歩いて楽しいまちづくり」「子どもも楽しいまちづくり」は、岡山を拠点として、さらに大きな地域づくりへ広がります。



MAJES 元麻布ガーデンズ

両備不動産東京カンパニー

企画力、商品力の追求で多様化した顧客ニーズに対応。

首都圏での事業をキャッチアップする—という両備グループに課せられたミッションに呼応して誕生したのが両備不動産東京カンパニー。両備グループの首都圏における不動産事業全般を担い、首都圏での新築マンション分譲・リノベーション分譲・戸建分譲等の住宅分譲事業、また両備グループ各社の安定収益源確保を目的とした不動産投資事業を展開しています。両備グループの成長エンジンとして、グローバルな視野と確かな判断力でより強い基盤を築きます。

両備不動産広島カンパニー

地域に寄り添う、地域創造。

地震大国日本において、比較的地震の被害が少ないとされる中国地方。中国地方最大の都市である広島と、両備グループの本拠地岡山との並行した開発で、中国地方全体の魅力づくりを推進します。快適で豊かなまちづくりを目指すには、地域と共に成長していくことが大切。地域に必要とされるデベロッパーになるために、広島という地域に根差し、新たなマーケットの開拓を進めます。



グレース恵町タワー



両備ストアカンパニー

「お客様第一主義」を徹底し
地域流通の未来を創造。

普段の生活の豊かさに着目し、食品や日用雑貨の販売、そして快適で便利なショッピング空間の提供を通じて皆様の暮らしをもっと快適にする——。これが両備ストアカンパニーの変わらぬテーマです。
近年ではこれまでの郊外型大型店舗「リョービプラッツ」に加え、高品質・こだわり商品の「パークス」、都市型小型スーパー「森のマルシェ」「フレッシュマルシェ」など、さまざまなタイプの店舗を開発し、差別化を図ってきました。地域に密着し、地域とともに育ってきた会社ならではの着眼点で、豊富な物流・商品ノウハウと最先端のICTで、地域の暮らしを支えます。

両備経営サポートカンパニー

ヒト・モノ・カネの一元管理で 次代に向かう夢を創る。

両備ホールディングスの経営形態の要となるのが両備経営サポートカンパニー。財務本部、人財本部、創夢本部の3本部制をとっており、会社全体のヒト・モノ・カネを一元管理し効率的に運用することと、各カンパニーの執行管理を主な業務とし、両備グループの横断組織を機能させる中枢の役割も担っています。
財務本部は、会社全体の資産と負債のバランスを効率的に運用する管理業務に加え、海外企業を含めた両備グループ全体の財務戦略を構築し実践しています。
人財本部は、グループ全体の人財確保戦略や教育改革、働き方改革、制度構築を加速させ、より一層の社員満足度向上に取り組んでいます。
社員の夢を創るということから名づけられた創夢本部は、その名の通り社員が夢を持つことができる環境づくりのため、経営環境の変化に対応した各種課題に取り組んでいます。
両備経営サポートカンパニーに課せられた最大のミッションは、グループ全体を俯瞰する両備グループ経営戦略本部、両備グループ広報部とともに、社員が夢を実現できる両備グループを創ることです。



両備テクノモビリティカンパニー

長年の信頼と最新の技術力で
新たなフィールドにトライ。

車両整備などを通じて両備グループの安全を長年技術面で支えてきた「両備テクノ」と両備グループ唯一のメーカー「ソレックス」が融合して誕生したのが両備テクノモビリティカンパニー。新たな組織が生み出す技術力・営業力のシナジーで、ネクスト100年を支える新たな事業フィールドを築きます。

両備グループの最重要課題である安全運行を高い技術力と責任感で支えているのが整備本部。小型車両から大型・特殊車両、産業機械まで、車検・整備をはじめ板金塗装・車体架装に至るさまざまな関連業務を通じ、50年を超える長い歴史の中で多くの実績と大きな信頼を積み上げています。ソレックスブランドで常に時代のニーズに細かく応えるものづくりを行ってきた生産本部の軸製品はトレーラー。水上バイク・ボート向けのマリン用小型トレーラー分野では、国内トップクラスのシェアを誇ります。キャンピングカー用・スノーモービル用等、あらゆる用途に応じたトレーラーのラインナップを取り揃えていることも大きな特徴です。2019年発表の大型農業用トラクターを積載可能なトレーラーは、それまで同サイズの農機を運搬できる公道走行可能なトレーラーが無かったことから日本初の開発となりました。その高い技術は、球場で使用するグラウンド乾燥機やホバークラフト製造など、幅広い分野に生かされ、近年では、防災や福祉面での商品開発も進めています。

両備テクノモビリティカンパニーは、開発力を高め、安全・安心・高品質・高技術で、さらなる信頼を獲得し、次代に向かいます。



RYOBI HOLDINGS^{*}

両備ホールディングス株式会社
<http://www.ryobi-holdings.jp>